

ドライブレコーダー

FT-DR ZERO Ω

取扱説明書



このたびは **FT-DR ZERO Ω** をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、大切に保管していただき、その都度ご参照ください。

本機の電源は DC 5V 専用です。
必ず、付属の DC 電源コードを使用してください。

目次

必ずお読みください

安全についてお願い・ご注意	2
免責について	3
個人情報の保護について	3
内蔵バッテリーに関して	4
microSD/SDHC カードに関するご注意	4
LED 式信号について	5
赤外光による色調の乱れについて	5
もしも事故が起きてしまったら	5
パソコンで映像を再生する場合の動作環境	6
本機の特長	6

準備する

同梱品を確認する	7
各部の名称	8
メディアを準備する	9
電源を入れて日時を合わせる	10
車へ取り付ける	11

撮る

動画を撮影する	13
静止画を撮影する	13

見る

本機で撮影した映像・画像を本機のモニターで確認する	14
本機で撮影した映像・画像をモニターを接続して見る	16

便利な機能を使う

各種設定をする	17
---------	----

上手な使い方

本機の動作について	21
ループ録画について	21
ロックファイルについて	22
初期化（オールリセット）について	23
赤外線機能について	23

別売りアクセサリのご紹介

NX-BP05 と接続する	24
---------------	----

故障かな？と思ったら

仕様	28
----	----

必ずお読みください

安全についてのお願い・ご注意

本機を安全にご使用いただくには、正しい使い方と安全に関する注意事項をお守りいただくことが必要です。本書では、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



警告

この表示の欄を守らないと火災・感電及びその他の危険により死亡や大けがの原因となります。



注意

注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

警告



■運転の妨げにならない場所に取り付ける

本機は、運転の妨げにならないように、取り付けてください。また、取り付けの際に、本機が落下しないように十分ご注意ください。万が一落下した場合でも、運転の支障にならない場所をお選びください。



■ケースは絶対にあけないでください

本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障や感電の原因となります。



■内部に異物を入れない

内部に異物が入ると火災や感電の原因となります。



■電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。



■異常があるときはすぐ使用をやめる

発熱、発煙、異臭を感じた時は、直ちに使用を中止して、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。そのまま使用されますと火災や感電の原因になります。お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。



■本機を濡らさない

水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電、故障の原因になります。



■車を運転中に本機を操作しない

車を運転中に本機を操作することは交通事故の原因になります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心がけてください。

注意



■衝撃や強い振動を加えない

使用している部品が壊れ故障の原因になります。



■使用温度／湿度範囲内で使用する

本機の温度／湿度保証範囲 (P.28) 以外で使用する と内部の部品に悪影響を与えたり、誤作動の原因となります。特に夏期や直射日光に当たると予想以上に高温になりますので十分ご注意ください。



■高温時の取り扱いに注意する

本機に直射日光が当たっている状態など本機がかなり高温になっているときがありますので触れる際には、十分にご注意ください。



■お手入れの際、電源プラグを抜く

お手入れの際はかならず本機の電源を切り、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。また、お手入れには柔らかい布またはティッシュペーパーを使用し、シンナー、ベンジン、アルコール類を使用しないでください。使用するとケースが変形するおそれがあります。



■日本国内で使用する

本機の仕様は日本国内向けとなっています。



■取り付け場所を十分に考慮する

(P.11)

免責について

■免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

1. 本商品に関連して直接または間接に発生した故障・誤動作・損害・被害、または結果的損害・被害
2. お客様の誤使用や不注意による本製品の障害または破損など
3. お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
4. お客様による映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
5. 記録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

個人情報の保護について

■個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された映像で個人が特定できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

内蔵バッテリーに関して

長期間にわたり使用されない場合、少なくとも 2 か月に 1 度電源ケーブルや USB ケーブルをパソコンや USB 電源に接続して 20 分程度充電してください。また内蔵バッテリーには寿命があります。充電しても「バッテリー充電不足」という警告が出る場合や、電源を切ったときにすぐに画面が消えてしまう場合、リスタートを繰り返す場合、時計が初期値に戻ってしまう場合は内蔵バッテリーの寿命です。寿命を迎えるとバッテリーパックが膨張することがあります。これは使用しているバッテリーの特性です。バッテリーが膨らんでいたり、変形している場合にはバッテリーの性能が著しく低下しているため、使用を中止し、バッテリーの交換を依頼してください。また、バッテリー寿命末期のまま使用すると、時計がリセットされるだけではなく、電源が切れた時の終了処理が出来なくなり、記録データの喪失、microSD/SDHC カードの破損などを引き起こす原因となります。そのまま使用することは絶対におやめください。

※保証期間終了後のバッテリーの交換は有料です。

※バッテリーの寿命は使用環境によって変化します。

microSD/SDHC カードに関するご注意

microSD/SDHC カードは消耗品です。

microSD/SDHC カードは書き換え回数に上限があり、書き換えを繰り返すことで正常に保存ができなくなり、データを破損して読み込みもできなくなります。

microSD/SDHC カードは 1-2 週間を目安に定期的なメンテナンス（フォーマット）を実施してください。

※ microSD/SDHC カードが寿命を迎えている場合の動作例

- ・記録が開始されない
- ・“しばらくお待ちください” から切り替わらない
- ・“メモリーエラー” が出る
- ・“SD カードがありません” と表示される
- ・ロックスイッチの位置に係わらず、書き込み禁止の表示が出る

フォーマットをしても異常が起る・フォーマットできないなどの症状が出た場合は、

microSD/SDHC カードを交換してください。

microSD/SDHC カードの寿命は概ね 3 ヶ月から 1 年程度です。（ドライブレコーダーのご使用状況（ご使用時間）により microSD/SDHC カードの寿命は変動致します。この期間、また本製品の保証期間でカードの寿命を保証するものではありません）

また 1 年を経過したものはたとえ問題が無くても交換されることをお勧めします。

メンテナンス（フォーマット）の方法

●パソコンをお持ちの方

microSD/SDHC カードをパソコンで読み取れるかどうか・動画の再生が出来るかどうかを確認しフォーマットを行ってください。フォーマットは、SDFormatter（SD/SDHC/SDXC カード専用フォーマットソフト）をご使用ください。（オプションで上書きフォーマットを選択してください）

https://www.sdcard.org/jp/downloads/formatter_4/

●パソコンをお持ちでない方

ドライブレコーダーの再生モードで記録した映像を再生して問題が無いことを確認してください。その後、本体のメニューにフォーマットの項目がありますので、フォーマットを行ってください。

LED 式信号機について

ドライブレコーダーの録画映像で LED 式信号機が点滅したり、消灯しているように見える場合があります。LED 式信号機は高速で点滅しているため、カメラの撮影タイミングと、LED の消灯タイミングが同調したことで起こります。

赤外光による色調の乱れについて

本機は内蔵の赤外線 LED による夜間室内撮影が可能のため、太陽光で温められた葉っぱやカラ一電球などの色あいが違って見えることがあります。

もしも事故が起きてしまったら・・・

本機には万が一の事故による記録を保護する為の G センサーによるファイルロック機能を搭載しておりますが、センサー感度設定や衝撃の伝わり方によってはファイルロックされない場合があります。この場合、記録を停止しない限り撮影を続けるため事故時の映像が上書きされてしまう場合があります。必ず撮影を停止し、本機から microSD/SDHC カードを取り出してケースなどで保護して保管してください。

パソコンで映像の再生をする場合の動作環境

Windows Vista/7/8/8.1 (32/64bit) がインストールされたパソコン。

AVI (MJPEG) 形式に対応した再生ソフト (再生ソフトに関するお問い合わせはお受けできません)

USB2.0 インターフェースもしくは microSD/SDHC カードリーダーを備えていること。

それぞれの OS の推奨環境以上で動画再生でも十分な能力を持っていること。

本機の特長

■ 約 100 万画素の高解像度

総画素数 約 100 万画素の高解像度 CMOS センサーを搭載。

■ ワイドレンズ搭載

水平レンズ画角 約 115 度レンズを搭載。広範囲の撮影ができます。

■ 大型液晶モニター搭載

2.7 型液晶モニターを搭載しており、録画中の画像や記録した映像を直ぐに再生が可能です。

■ フロントガラスに簡単に取り付け可能

取付けステーは両面テープタイプ。

小型で邪魔になりません。

■ データー記録用バックアップ電池内蔵

衝撃や事故等によってシガー電源が切れた時でも、内蔵のバックアップ電源で録画中のファイルを閉じて保存します。

■ ロックファイル機能搭載

衝撃センサー内蔵で衝撃を検知すると上書きされないように記録ファイルを保護します。

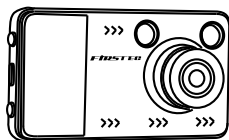
■ 音声記録も可能

モノラルマイクロホンを内蔵しております。映像に加え、音声も記録できます。音声録音は ON/OFF 設定が可能です。

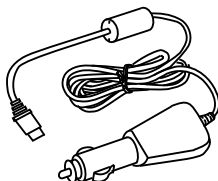
準備する

同梱品を確かめる

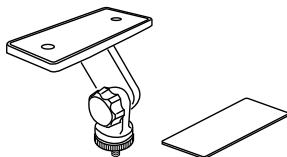
お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。
内容をご確認ください。



本体
(1 台)



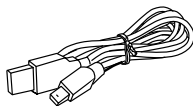
カー電源コード<約 3m>
(1 本)



取付けステー (1 個)
ステー固定用両面テープ



取扱説明書<本冊子>
保証書付 (1 冊)



USB 接続ケーブル
(1 本)

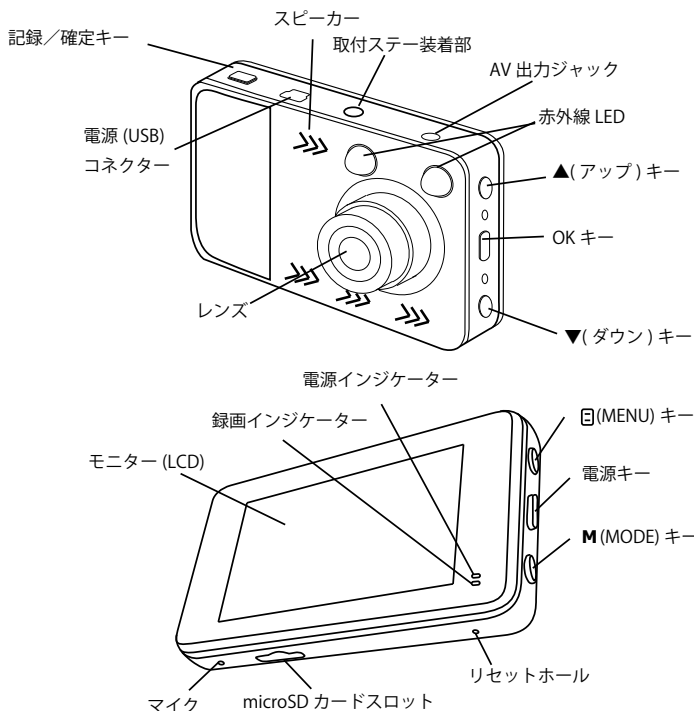


4GB microSDHC カード
(1 枚)



AV 変換ケーブル
(1 本)

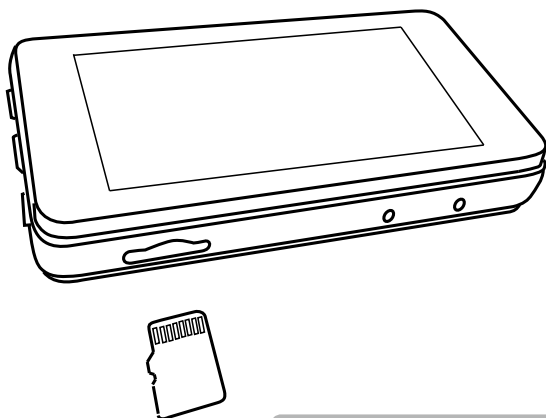
各部の名称



準備する

メディアを準備する

microSD/SDHC カードのラベル面をレンズ側に
して本体のカード装着部に “カチッ” と音がするまで
挿入します。必ずカードの向きに注意し、引っか
かりがある場合など、無理に入れないでください。
また、カードを抜く場合にも同様に “カチッ” と音
がするまで押してから引き抜いてください。挿抜
は本体の電源が切れているときに行ってください。



△注意

- microSD/SDHC は非常に薄くできていま
す。無理な力を加えないように丁寧に取り
扱ってください。
- microSD/SDHC は消耗品です。ドライ
ブレコーダでご使用の場合耐用年数は 3 ヶ
月から 1 年です。問題が無かったとしても
1 年毎に新しい microSD/SDHC カードと
交換することをお勧めします。(P.4)
- 小さなお子様のいらっしゃるご家庭では手
の届かないところで保管してください。

電源を入れて日時を合わせる

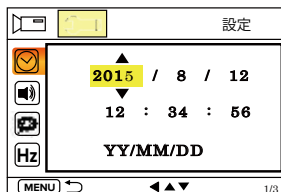
カー電源コードをつなぎ本体の電源を入れます。自動的に録画が始まるので**記録 / 確定**キーを押して録画を停止します。



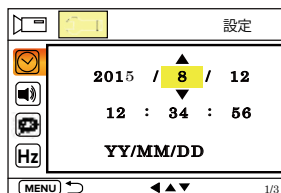
- ① MENU キーをゆっくりと2回押して設定画面を表示させます。



- ② ▼ キーで "日時設定" に合わせて OK キーを押します。



- ③ 年を ▼ / ▲ キーで合わせたら、OK キーで項目を移動させます。



- ④ 月を ▼ / ▲ キーで合わせたら、OK キーで項目を移動させます。

- ⑤ 同様にして日・時刻、表示形式を選択し、最後に MENU キーを押します。

その他の項目は推奨値に設定してあります。

設定を変更する場合には「便利な機能を使う」を参照して変更してください。

準備する

車へ取り付けける

取り付け上のご注意

本製品は道路運送車両法・保安基準第 29 条の前面ガラス装着規制対象外です。

但し、設置場所はフロントウィンドウの開口部上端から下方向に 1/5 以内の場所に限りま。装着後運転の邪魔にならないか、バックミラーの操作の邪魔にならないか等十分に確認してから使用してください。

■車を平らで安全な場所に駐車して作業をしてください。

■配線後のコードが運転の支障にならないように固定してください。

■道路運送車両法・保安基準に適合するように、フロントガラスに取り付けてください。

■取り付け位置はフロントウィンドウの開口部上端から上下方向に 1/5 以内の場所、もしくは運転席側から見てルームミラーに隠れる場所に取り付けをしてください。

■レンズ部分がワイパーでふき取れる部分になる位置にくるよう取り付けください。

■点検シールや検査標章などと重ならないようにしてください。

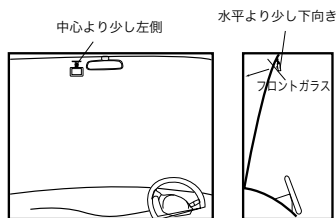
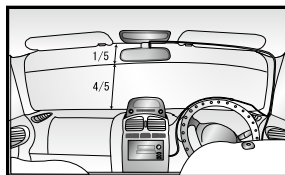
■両面テープを貼り付ける際、接着面の汚れや湿気をよく取り除いてから行ってください。特に湿度の高い日はデフロスター（曇り止め）等で湿度を下げてから行ってください。また最初にセロテープ等で仮止めをしてから貼ることをおすすめします。

■貼り付け直後は十分な接着力が得られません。テープ本来の接着力を得るには 24 時間程度必要です。

■接着力が高いため、はがす場合には接着面を傷める可能性があります。

■あらかじめモニターで撮影範囲を確認の上、取り付けしてください。

■ルームミラーの操作に邪魔にならない位置に取り付けてください。



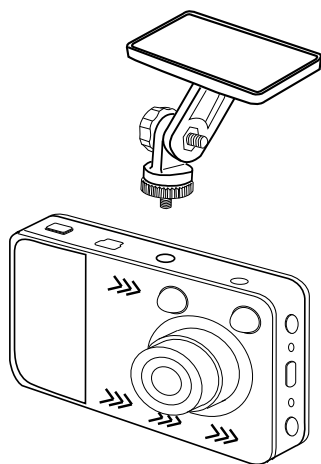
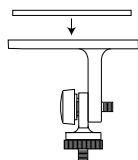
＜トラックの場合の取り付け参考例＞

■前方がしっかりと見える場所に取り付けてください。

△注意

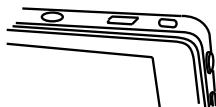
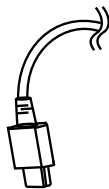
カーナビゲーション、ETC、地デジチューナーやそれらのアンテナなど電波を受信する機器から離して取り付けてください。

1. 本体の取り付けステーに付属の両面テープを貼り付けます。(汚れや油などをきれいに拭き取り、取り付けステーのくぼみに合わせて貼ってください)
2. 本体の取り付けステー装着部にステーを取り付けます。
3. 車両の中央部から助手席側の運転に邪魔にならない場所をあらかじめ確認して、レンズを進行方向に向けて取り付けます。
4. 本体固定ナット、角度調整ねじで本体をしっかりと固定します。
5. 「付属のカー電源コードの mini-USB プラグを本体に差し込みます。
6. カー電源コードの電源プラグを車のシガーライターソケットに差し込みます。



△注意

- シガーライターソケットが汚れていると接触不良の原因になりますので、よく掃除をしてから取り付けてください。
- カー電源コードは必ず付属のものをご使用ください。



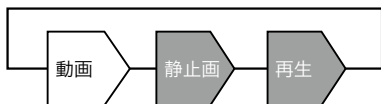
動画を撮影する

本機に外部からの電源が供給されると、自動的に電源が入り記録が開始されます。(記録が開始されるまでに少し時間が掛かります。)

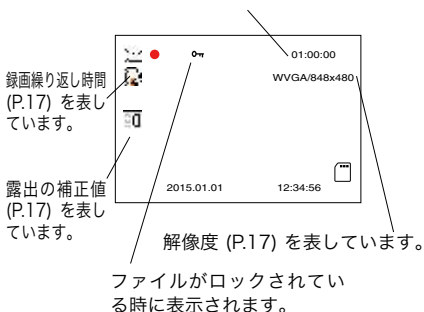
録画が開始されると、画面左上のインジケーターが赤色の点滅を開始します。また、本体の橙 LED がゆっくりと点滅を開始します。

録画を止める場合は、記録 / 確定キーを押します。

録画中に▲/▼キーを押すとデジタルズーム機能が使えます。電源を切ると元の倍率にもどります。ドライブレコーダーで使用する場合はズーム機能は使用しないでください。



録画停止中は記録可能時間の目安が表示されます。録画を開始すると、赤色に変わり記録時間をカウントします。



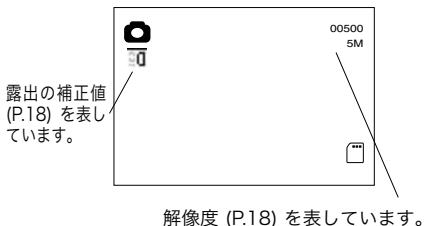
静止画を撮影する

動画記録中の場合は、記録 / 確定キーを押して動画記録を停止します。

MODE キーを押して押して静止画モードにします。

記録 / 確定キーを押すとシャッターが切れます。

MENU キーを押すと静止画のメニューが表示されます。



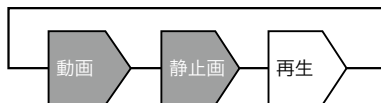
撮影した映像を本機のモニターで確認する

動画記録中の場合は、記録 / 確定キーを押して動画記録を停止します。

MODE キーを押して 2 回押して再生モードにします。

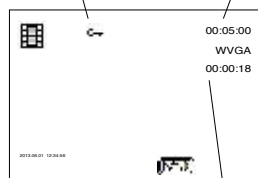
再生したい映像を▲ / ▼キーで選択し、記録 / 確定キーを押すと再生が開始されます。

再生を停止するときは、記録 / 確定キーを押すと再生が一時停止します。
(再生停止状態でもう一度記録 / 確定キーを押すと再び再生を始めます。)



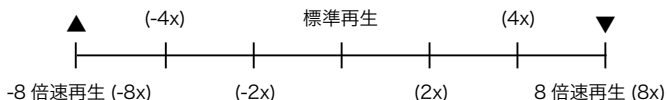
ファイルがロックされている時に表示されます。

選択されている動画の長さ(時間)を表しています。



再生を開始すると、カウンターが現れて再生時間を表示します。

再生中に ▲ ▼ キーを押すことで再生速度の変更ができます。



MODE キーを押すと 再生映像選択画面に戻ります。

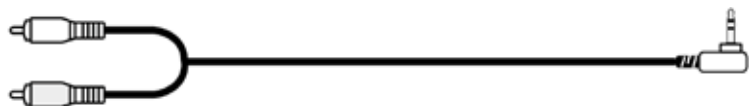
再生映像選択画面で  MENU キーを押すと再生メニューが表示されます。

再生メニューでは、記録ファイルの削除や保護ができます。

ボタン	動作	機能
▲	ファイル選択時	前のファイルを表示
	ファイル再生時	再生速度の変更
▼	ファイル選択時	次のファイルを表示
	ファイル再生時	再生速度の変更
MODE キー	ファイル選択時	モード変更
	ファイル再生時	
MENU キー	ファイル選択時	再生設定メニュー表示
	ファイル再生時	
記録/確定 キー	ファイル選択時	再生
	ファイル再生時	一時停止

モニターを接続して見る

本機の AV 出力ジャックに市販の AV ケーブルを接続することで外部出力することができます。



2.5mm または 3.5mm ステレオ (3 極) ミニプラグ — RCA ピンプラグ x2 (黄色・白 (または黒)、もしくは赤・白などのケーブルを接続することで、映像を外部に出力することが可能です。3.5mm のケーブルの場合には付属の AV 変換ケーブルを使用してください。外部モニターに出力中は本機のモニターは動作しません。ケーブルによって極性が異なることがありますので、出力されない場合は逆に接続してみてください。

△注意

■映像のみのケーブル (1 極) タイプや 4 極タイプ (赤・白・黄) のケーブルでは動作しません。

便利な機能を使う

各種設定をする

各種設定を行う場合、録画を一旦中断してください。

もっときれいな画像、もっと長時間の録画

ビデオ・MENU > 解像度

録画する画像の解像度を設定します。解像度をあげると録画時間が短くなり、さげると長くなります。

720p 1280×720	高解像度 (初期設定)
WVGA 848×480	バランス
VGA 640×480	長時間

※ WVGA は 800×480 ですが、本機では 848×480 を WVGA として便宜的に使用しています。

録画繰り返し時間を設定する

ビデオ・MENU > 録画繰り返し時間

一つの録画ファイルの時間を設定します。

SD/SDHC カードの容量がいっぱいになると、古いファイルから消されて新しいファイルが保存されます。

3 分	(初期設定)
5 分	

画像を明るく・暗く

ビデオ・MENU > 露出補正

マニュアルで露出補正を設定できます。

設定範囲	-2.0 ~ +2.0
------	-------------

初期値：± 0.0

動きを検出して録画を開始する

ビデオ・MENU > 動体検知

動体検知機能を ON に設定すると、画像の中に動くものが検出された場合に記録を開始します。動作が検出されなくなると自動的に録画が停止します。

OFF	動体検知機能を使わない (初期設定)
ON	動体検知機能を使う

※ 動体検知機能はカメラに写っている画像の中の動き（輝度の変化）を検出します。動くものがあった時に自動的に電源が ON になるものではありません。また、遠くのものなど画面に占める割合が少ない場合や動きが連続しない場合などには反応できない場合があります。ドライブレコーダーとして使用する場合は動体検知機能は必ず OFF にて使用してください。

映像と同時に周囲の音を録音

ビデオ・MENU > サウンドレコーディング

サウンドレコーディング機能で、映像とともに音声や車の中の音を同時に記録するかどうか選択できます。

OFF	音声を記録しない
ON	音声を記録する (初期設定)

映像に日時を記録する

ビデオ・MENU > 日時記録

記録するときに日時を同時に記録することができます。

OFF	日時を記録しない
ON	日時を記録する (初期設定)

Gセンサーによる自動ファイルロック機能

ビデオ・MENU > G センサー感度

G センサーによるファイルロック機能は、事故や衝突など一定以上の衝撃が加わると録画中のファイルが保護され書き禁止になる機能です。G センサーの感度は3段階調整出来ます。

OFF	G センサーを使用しない
高感度	
中感度	(初期設定)
低感度	

※動画記録中に MENU ボタンを押すことで手動でファイルを保護することができます。

静止画の解像度を設定する

静止画・MENU > 解像度

静止画の解像度は次の中から選択できます。

8M	3264 x 2448
5M	2592 x 1944
3M	2028 x 1536 (初期設定)

画像を明るく・暗く

静止画・MENU > 露出補正

マニュアルで露出補正を設定できます。

設定範囲	-2.0 ~ +2.0
------	-------------

初期値：± 0.0

静止画に日時を記録する

静止画・MENU > 日時記録

静止画を記録するときに日時を同時に記録することができます。

OFF	日時を記録しない
ON	日付 / 時刻を記録する (初期設定)

便利な機能を使う

記録済みファイルを削除する

再生・MENU > 削除

記録された映像・画像ファイルは古いものから自動的に消され（上書き）ますが、手動で特定のファイルを削除することができます。

このファイルを削除する	現在のファイルが削除されます
すべてのファイルを削除する	カードに記録された全てのファイルが削除されます

記録済みファイルを保護する

再生・MENU > 保護

記録された映像・画像ファイルは古いものから自動的に消され（上書き）ますが、手動で特定のファイルを保護することができます。保護されたファイルには鍵マークが表示されます。

このファイルを保護する	現在のファイルが保護されます
このファイルの保護を解除する	現在保護されているファイルの保護を解除します
全てのファイルを保護する	カードに記録された全てのファイルを保護します
全てのファイルの保護を解除する	カードに記録された全てのファイルの保護を解除します

※ ファイルを保護しても microSD/SDHC カードをフォーマットすると消去されます。ご注意ください。

日付と時刻を設定する

設定・MENU > 日時設定

映像、静止画に記録する日付と時刻をあわせめます。（P.10 参照）

操作音の ON/OFF

設定・MENU > 操作音

ボタンを押した時の操作音の ON/OFF を設定します。

メニューの言語を選択する

設定・MENU > Language（言語選択）

表示言語を日本語・English（英語）から選択できます。

蛍光灯のチラツキを抑える

設定・MENU > 電源周波数

蛍光灯下でのチラツキを抑えるための設定です。東日本では 50Hz、西日本では 60Hz を選択します。

スクリーンセーバー

設定・MENU > スクリーンセーバー

録画の時間が一定時間経過すると LCD 画面のバックライトが消え、画像が暗くなります。ここではスクリーンセーバーが動作するまでの時間を設定します。

OFF	バックライトを消さない（初期設定）
1 分	1 分後
3 分	3 分後

※ オフを選択するとスクリーンセーバーは動作しません。

赤外線 LED を使用する

設定・MENU > 赤外線 LED

赤外線 LED を使用する場合に設定します。通常のドライブレコーダーとして使用する場合には OFF で使用してください。

OFF	赤外線 LED を使用しない (初期設定)
ON	赤外線 LED を点灯する

※赤外線の出射距離は最長 1.5m です。またトラックなどフロントガラスが地面に対して垂直に近い角度でついている場合には発光した赤外線がフロントガラスに反射して映り込むことがあります。

ドライブレコーダーとして使用する場合にはヘッドライトの明るさで撮影するため OFF で使用してください。

設定を工場出荷状態に戻す

設定・MENU > 設定初期化

本機の設定を工場出荷状態に戻します。出荷状態に戻すときにはメニュー選択後「確認」を選択して下さい。

(日時の設定は初期化されません)

microSD/SDHC カードを初期化する

設定・MENU > フォーマット

microSD/SDHC カードの初期化を行います。microSD/SDHC カードを初期化すると、記録したデータ（ロックファイルを含みます）は全て消去されます。必要なデータは初期化する前にあらかじめパソコンなどに保存しておいて下さい。

ソフトウェアのバージョンを確認

設定・MENU > ソフトウェア バージョン

本機ソフトウェアのバージョン情報を確認できます。本機ソフトウェアのバージョン情報を確認できます。

上手な使い方

本機の動作について

本機に外部から電源が供給されると自動的に電源が入り録画が開始されます。また、電源の供給が止まると、記録ファイルの終了処理を行い、自動的に電源が切れます。

本機は動画の撮影の他に、写真（静止画）の撮影、動画の再生、静止画の表示を行うことが出来ます。

録画停止中に MODE キーを押していくと、動画モード→静止画モード→再生モードとモードが切り替わり、再生モード中に MODE キーを押すと再び録画モードに戻ります。

録画、静止画、再生、各モード中にメニューキーを押すと、各モードのメニューが表示されます。さらにもう一度メニューキーを押すとシステムメニューが表示されます。

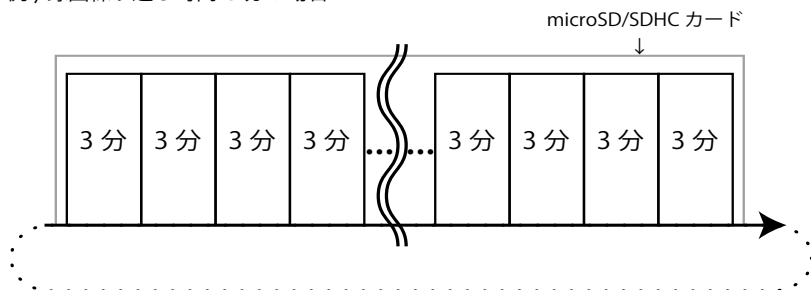
メニューの詳細は“各種設定”の項目 (P.17) を参照してください。

ループ録画について

本機はループ録画形式を採用しております。

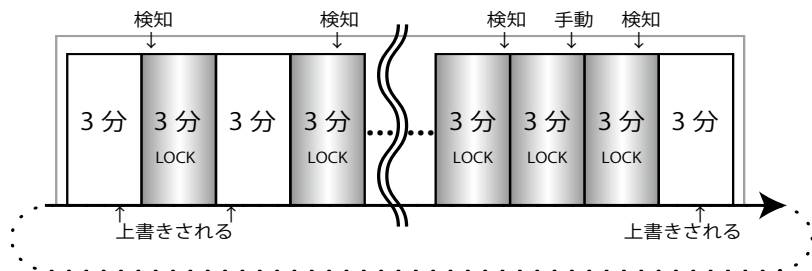
“各種設定”の項目 録画繰り返し時間 (P.17) で設定した時間ごとに動画ファイルを作成し、SD カードの容量いっぱいまで記録をすると、古いファイルを削除して録画を継続していきます。

例) 録画繰り返し時間 3 分の場合



ロックファイル (ファイルの保護機能) について

本機は、衝撃センサーが設定値以上の衝撃を検知すると現在録画中のファイルをロックし、ロックファイルとして保護します。G センサー (P.18) による自動ファイル保護以外に MENU キーにより手動で保護することもできます。自動的に保護されたファイルの次のファイルも保護したいときは手動で保護してください。



ロックファイルは上書きされないため、それ以外の部分を使用してループ録画を続けます。このため空き部分の書き換え回数が増え microSD/SDHC カードの寿命にも影響を与えます。定期的にロックファイルを消去するか、microSD/SDHC カードをフォーマットして使用してください。

またロックファイルが一杯になると、ループ録画ができなくなります。

ロックの解除方法

- ① 再生モードで MENU キーを押し再生メニューを出します。
- ② ▼キーで保護を選択し OK キーを押します。
- ③ OK キーを押し、全てのロックを解除を選択し、OK キーを押してください。

フォーマットの方法

- ① 録画が停止している状態で、MENU キーを 2 回押し **設定・MENU > フォーマット** を表示して、実行します。

△注意

- 必要なデータがある場合はパソコンなどでバックアップを取ってください。

初期化（オールリセット）について

本機が正常に動作しない場合やフリーズした場合には初期化を行います。

電源ケーブルを抜いた状態でリセットホールのリセットスイッチをクリップの先などで押してください。

初期化を行っても問題が解決されない場合、microSD/SDHC カードを抜いて再度リセットを確認します。カードを抜いて正常に動作する場合にはパソコンなどでカードをフォーマットしてください。

赤外線機能について

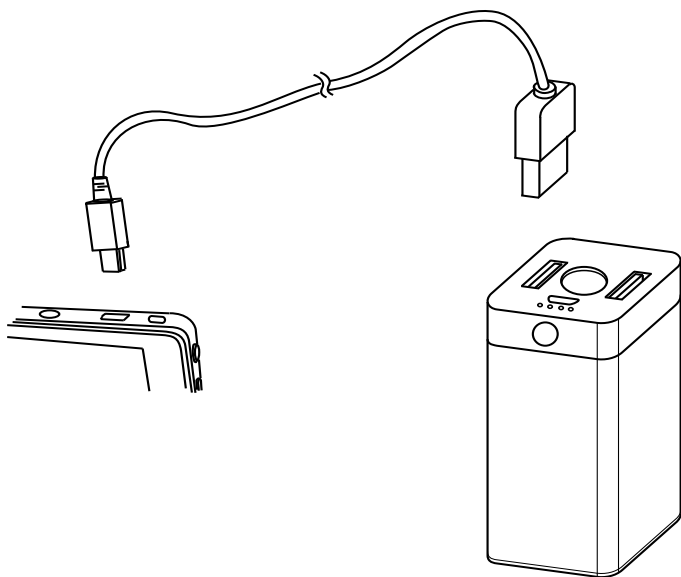
夜間の暗闇でも赤外線 LED により、撮影が可能です。赤外線照射距離は最大約 1.5m になります。赤外線は人間の目には見えません。

別売りアクセサリのご紹介

NX-BP05 と接続する

別売りのモバイルパワーボックス NX-BP05 を使用することで、エンジンを切った状態で本機を防犯カメラとして使用できます。

- ① FT-DR ZERO Ω の本体からカー電源コード抜きます。
- ② NX-BP05 付属の miniUSB ケーブル本体の電源 (USB) ポートに接続します。
- ③ miniUSB ケーブルをモバイルパワーボックスの NX-BP05 の USB ポートに接続します。
- ④ モバイルパワーボックスの NX-BP05 の開始スイッチを押し電源を入れます。



故障かな？と思ったら

電源が入らない

- カー電源コードが miniUSB ジャックにしっかり接続されていない。
⇒カー電源コードを miniUSB ジャックにしっかり接続してください。
- カー電源コードが車のシガーライターソケットにしっかり接続されていない。
⇒カー電源コードが車のシガーライターソケットにしっかり接続してください。
- カー電源コード先端に入っているヒューズが切れていませんか？
⇒新しいヒューズと交換してください。

映像が記録できない

- microSD/SDHC カードが挿入されていない。
⇒カードを本体に挿入してください。
- microSD/SDHC カードに異常があると映像記録ができなくなります。
⇒その場合は microSD/SDHC カードをフォーマットしてから本体に挿入してください。
- 保護したファイルで microSD/SDHC カードがいっぱいになってませんか？
⇒保護されたファイルを削除してください。
(P.19) 記録済みファイルを保護する

映像が細切れで記録されている

- 動体検知が ON になっていませんか？
⇒動体検知を OFF にしてください。
(P.17) 動体検知

動画再生で映像が飛んだり、カクカクする

- microSD/SDHC のスピードクラスが足りていない。
⇒解像度の設定 (P.17) を下げるか microSD/SDHC カードを交換してください。

**冬期電源を入れた
直後画面が暗い**

- 液晶画面の性質上、画面が温まるまでは暗い状態が続きます。

**画面にドット欠損
(輝点・滅点) がある**

- 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られています。画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。

**時計が初期値に
戻ってしまう**

- 内蔵の充電式バッテリーが放電してしまっている。
⇒本体に電源が入った状態（青色 LED が点灯している状態）でしばらく充電してください。（バッテリーには寿命があります P.4）

操作を受け付けない

- microSD/SDHC カードが壊れている可能性があります。
⇒ microSD/SDHC カードを抜いて動作をする場合には、microSD/SDHC カードが壊れている可能性があります。microSD/SDHC メーカー様へお問い合わせください。
- 内部コンピュータの異常
⇒リセットホールのリセットスイッチをクリップの先などで押してください。（P.23）

録画時間の目安

	1280 x 720	848 x 480	640 x 480
4GB	約 24 分	約 30 分	約 36 分
8GB	約 48 分	約 60 分	約 72 分
16GB	約 96 分	約 120 分	約 144 分
32GB	約 192 分	約 240 分	約 288 分

上記の時間は目安であり、ご使用の環境、映像の内容等によって大きく変わります。

■イメージセンサー	1/4 インチ 約 100 万画素 CMOS
■記録画角	水平：約 105° 垂直：約 67° 対角：約 125° @ 1280×720
■ビデオサイズ	1280×720 848×480 640×480
■言語	日本語 / 英語
■ビデオファイル形式	AVI-MJPG
■静止画ファイル形式	JPEG
■入力電圧	12/24V（電源コード）
■電源電圧	5V DC（本体）
■音声	モノラル
■サイズ	約 84（幅）× 47（高さ）× 14（奥行き）mm 突起部を除く
■音声	モノラル
■重量	約 60g
■動作温度 / 湿度範囲	0℃ ～ +60℃、湿度 20% ～ 80%（ただし結露しないこと、および 35℃以上に置ける湿度は 65%以下）

※動作環境は必ずしも動作を保証するものではありません。

※商品の仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

※本機は民生用機器であり、業務用途で使用された場合は保証対象外となります。

1 年保証規定

本製品は、当社において厳重な品質管理のもとに検査され合格したのですが、万一ご購入後1年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、当社が責任をもって無償修理いたします。

なお、次に記載した場合の故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

- ①使用上の誤り、不当な改造や修理などによる故障および損傷。
 - ②ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - ③火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源、電圧、周波数使用およびその他の天変地異などによる故障および損傷。
 - ④本保証書のご提示がない場合。
 - ⑤本保証書の所定事項が未記入、あるいは字句が書き換えられた場合。
- ※本保証書は日本国内においてのみ有効です。

- 使用上修理を依頼されるときはまず、配線の状態および操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。
- その際は問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現方法についてできるだけ詳しくお書きください。
- 必要なファイルは、必ずお客様にてバックアップをお取りください。お預かりしたデータの保証はいかなる場合でもできません。
- 保証は不具合が発生した製品を販売店にお持ちいただくか、弊社宛てに送付していただき、修理もしくは代品との交換によるセンドバック方式となります。
- 出張修理は行っておりません。
- 保証の範囲は商品のみの保証となり、取り付けや取り付けにかかる費用の保証や商品を使用する事により発生した商品以外への損害についての保証は一切いたしませんので予めご了承ください。

修理の際、一部代替品を使わせていただくこと、修理品に変わって同等品と交換させていただくことがあります。

【サポート問い合わせ先】

株式会社 エフ・アール・シー サービス課

TEL：042-793-7746 土日・祝日及び弊社休業日を除く【10:30～12:00 13:00～17:00】

【付属の microSDHC カードについて】

本製品に付属の microSD/SDHC カードは本機で使用の場合に限り、本体の保証に準じ保証します。

microSD/SDHC カードの故障と思われる場合には、まずはパソコンで SD アソシエーションから配布されている SD フォーマットを使用して[上書き]フォーマットしてください。フォーマットができない場合などは下記の住所に不具合の現象と本機の保証書のコピー(必ず保証期間のわかるもの)と microSD/SDHC カードを添付してお送りください。

〒101-0025

東京都千代田区神田佐久間町 1-17-5 階

(株)磁気研究所 サポートセンター

TEL：03-3253-5823 土日・祝日を除く【10:30～12:00 13:30～15:30】

Mail：supoport@mag-labo.com





4-234-002

株式会社エフ・アール・シー

〒194-0035 東京都町田市忠生 4-11-8
TEL 042-793-7746 【10:00～12:00 13:00～17:00】
(土日祝日及び弊社休業日を除く)
URL <http://www.frc-net.co.jp/>

F.R.C. CO., LTD.